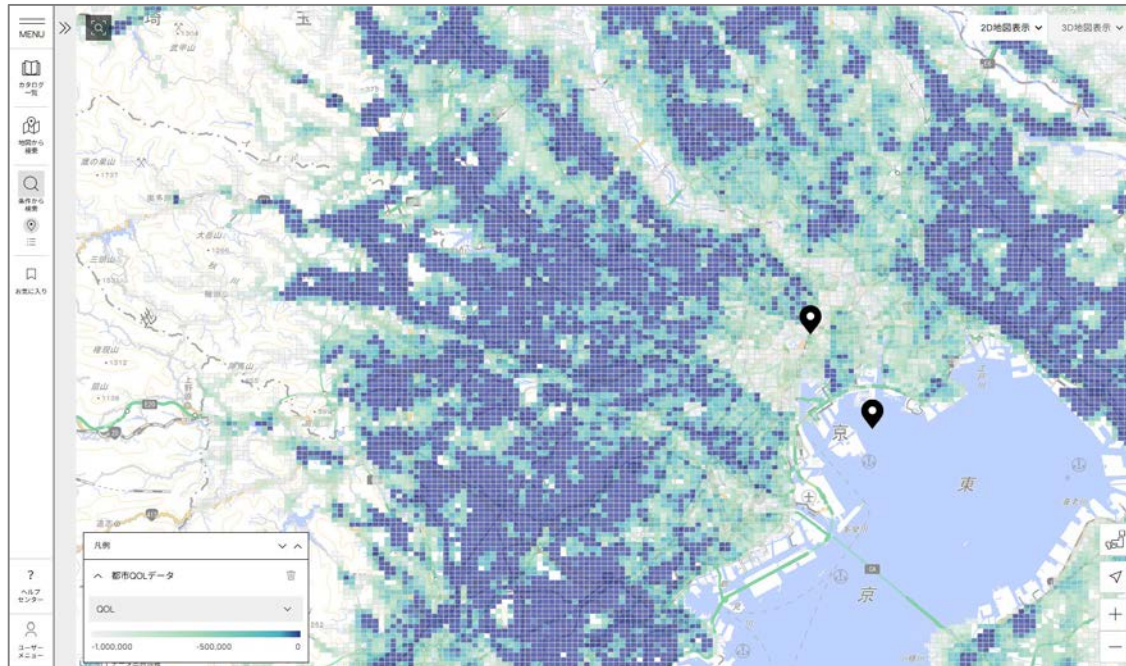


データ提供：都市QOL（大日本ダイヤコンサルタント株式会社）

- 個人ごとの価値観を考慮した都市の「住みやすさ」を生活の質（Quality of Life）の観点から総合的に評価した都市QOLデータ
- 都市計画や都市政策における現在の状況を分析、シミュレーション等により将来変化や政策効果の検証、性・年代等による各地域の住みやすさの違い等を分析することも可能



- 都市QOLは、林良嗣氏（現：東海学園大学 卓越教授）監修のもと、大日本ダイヤコンサルタント株式会社が開発した、個人ごとの価値観を考慮した都市の「住みやすさ」を生活の質（Quality of Life: QOL）の観点から総合的に評価したデータであり、日本国内各都市の住みやすさとその特徴を、高解像度で可視化、分析することが出来るデータベース
- 都市計画や都市政策における現在の状況を分析することが出来るほか、シミュレーション等により将来変化や政策効果の検証が可能な評価手法となっている

参考文献：林良嗣，森田紘圭，竹下博之，加知範康，加藤博和（編）：交通・都市計画のQOL主流化－経済成長から個人の幸福－，明石書店，p.396，2021。

カタログ	都市QOL		
データセット	都市QOL		
検索・閲覧	可能	ダウンロード	可能
データ提供者	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 インフラ技術研究所		

※7月下旬公開予定です。

データ概要：

- 対象年次：2020年
- 対象地域：日本国内の5大都市圏（東京都市圏、近畿都市圏、中京都市圏、福岡都市圏、札幌都市圏）
- 解像度：4次メッシュ（標準地域メッシュの500mメッシュ）
- 対象属性：各都市圏住民における20歳以上の男女平均値を使用
- 公開対象データ：QOL合計値（全国平均との差分）
- ライセンス：CC BY-NC-ND 4.0（表示、非営利、改変禁止）

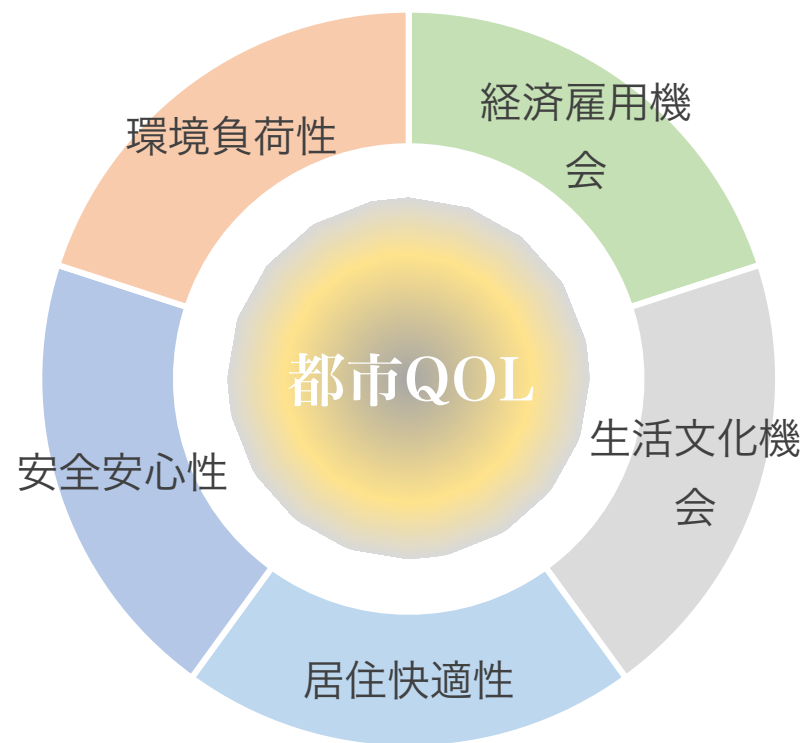
大日本ダイヤコンサルタント(株)
インフラ技術研究所 未来都市推進室
担当：森田 morita_hiroyoshi@dcne.co.jp

都市QOL（都市の住みやすさ指標）データベース

都市QOL指標は、そのエリアで暮らすことで得られるQOL（Quality of Life：生活の質）を総合的かつ高解像度に評価する指標です。

生活施設の近さや周辺の緑や騒音環境、安全安心など、人々があるエリアで暮らしやすいと感じる様々な要因を、多様なオープンデータと大規模アンケート調査を踏まえて、総合的かつ、500mメッシュの高解像度で評価するデータベースです。

都市交通政策や住宅計画、都市開発など、様々な分野での利用に向け、現在、5大都市圏でのデータベースを作成しています。



開発体制

開発主体

大日本ダイヤコンサルタント(株)

名古屋大学での10年以上の研究成果を活用

主な開発メンバー

林良嗣 名古屋大学名誉教授

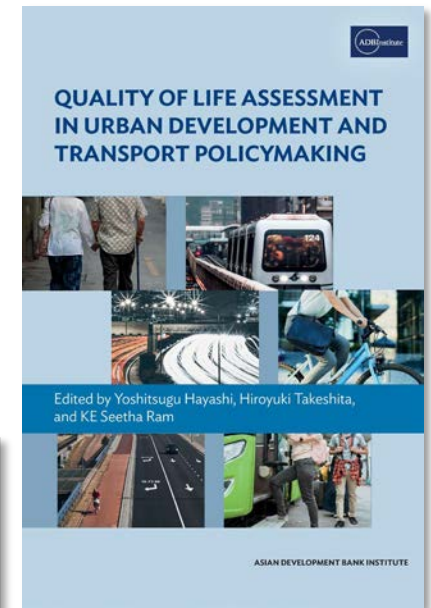
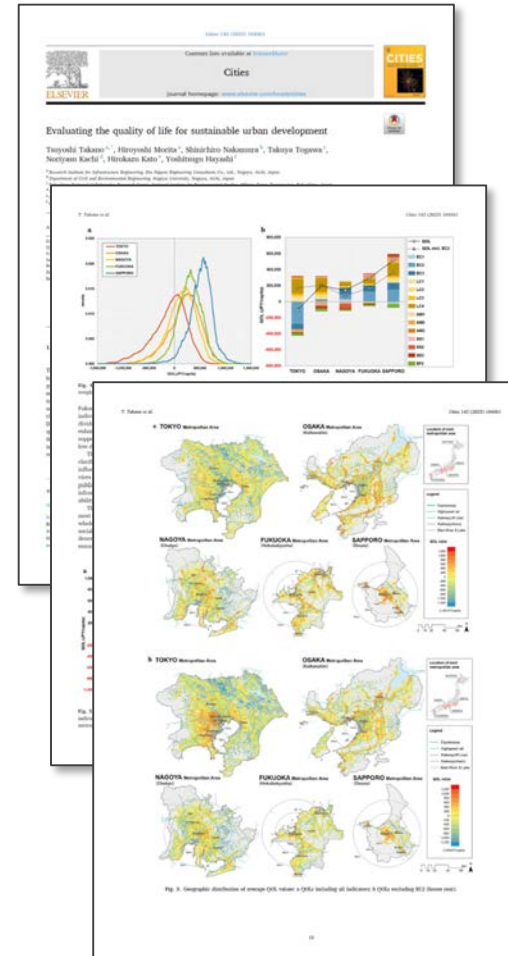
(現・東海学園大学卓越教授、ローマクラブ、WCTRS元会長)

加藤博和 名古屋大学教授

加知範康 東洋大学准教授 (元・名古屋大学研究員)

戸川卓哉 国立環境研究所 (元・名古屋大学研究員)

ADB(アジア開発銀行)の
ハンドブックに掲載
(弊社も共著者)



都市計画に関する
国際ジャーナルに掲載
(弊社が筆頭著者)

都市QOLの概要

- ・エリアの暮らしやすさに関する30の指標を統計データ・空間解析から収集
- ・約3,000名のアンケート調査結果から得られた価値観をもとに重みづけし統合

エリアの暮らしやすさを表す30指標

生活文化機会	身近な買い物先への所要時間	経済雇用機会	有効求人倍率
	身近な医療機関への所要時間		月々の家賃
	最寄りの鉄道駅への所要時間		オフィス・学校への所要時間
	コンビニへの所要時間	居住快適性	住宅の広さ
	飲食店への所要時間		身近な公園への所要時間
	娯楽施設への所要時間		住宅の静けさ
	大型小売店への所要時間	安心安全性	洪水リスク
	中心市街地への所要時間		交通事故リスク
	総合病院への所要時間		犯罪リスク
	役場への所要時間	環境持続性	住宅の省エネ性能
	銀行・郵便への所要時間		身近な緑の量
	幼稚園・保育園への所要時間		ごみ収集場への距離
	小学校への所要時間		
	図書館・公民館等への所要時間		
	文化施設への所要時間		
	体育施設への所要時間		
	大きな公園への所要時間		
	コワーキング等への所要時間		



大規模アンケート調査で
得られた価値観により統合

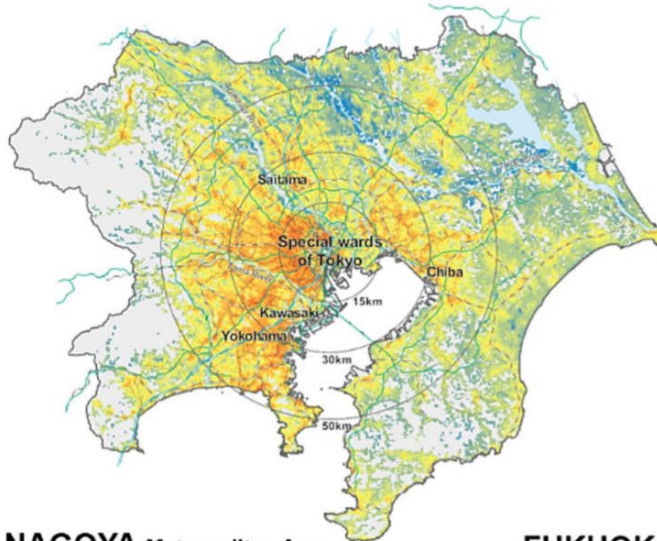
※年代や性別、所得などの個人属性ごとの分析も可能

※移動手段別の分析も可能

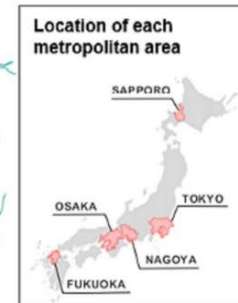
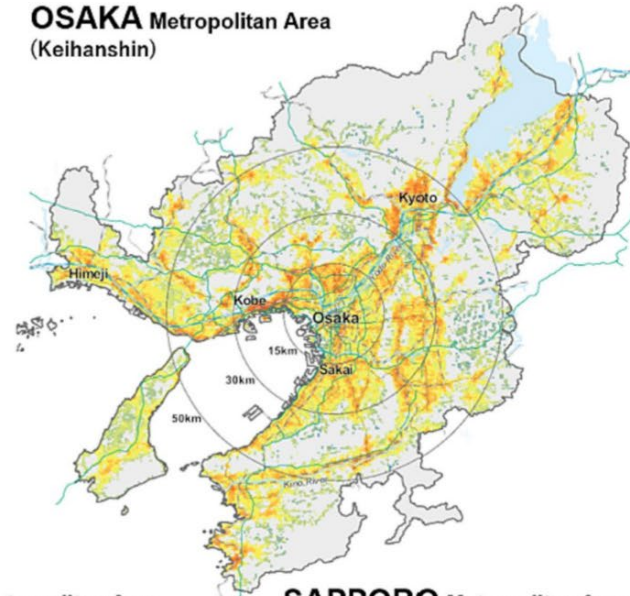
5大都市圏でのデータベース (家賃を除いた場合)

- ・ 2020年における5大都市圏におけるQOLを500mメッシュ値で提供

TOKYO Metropolitan Area



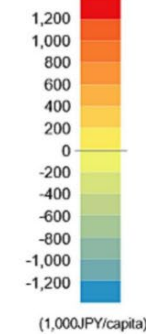
OSAKA Metropolitan Area (Keihanshin)



Legend

- Expressway
- Highspeed rail
- Railway(JR Line)
- Railway(others)
- Main River & Lake

QOL value



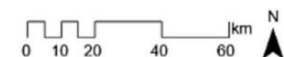
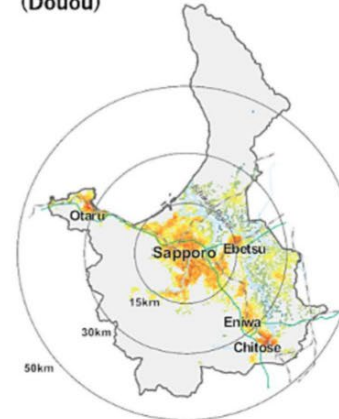
NAGOYA Metropolitan Area (Chukyo)



FUKUOKA Metropolitan Area (Hokubukyushu)



SAPPORO Metropolitan Area (Douou)



検索結果一覧

検索条件

☐ 密集したポイントをまとめて表示

検索結果：2件 (2件 表示中) [↓](#)

東京

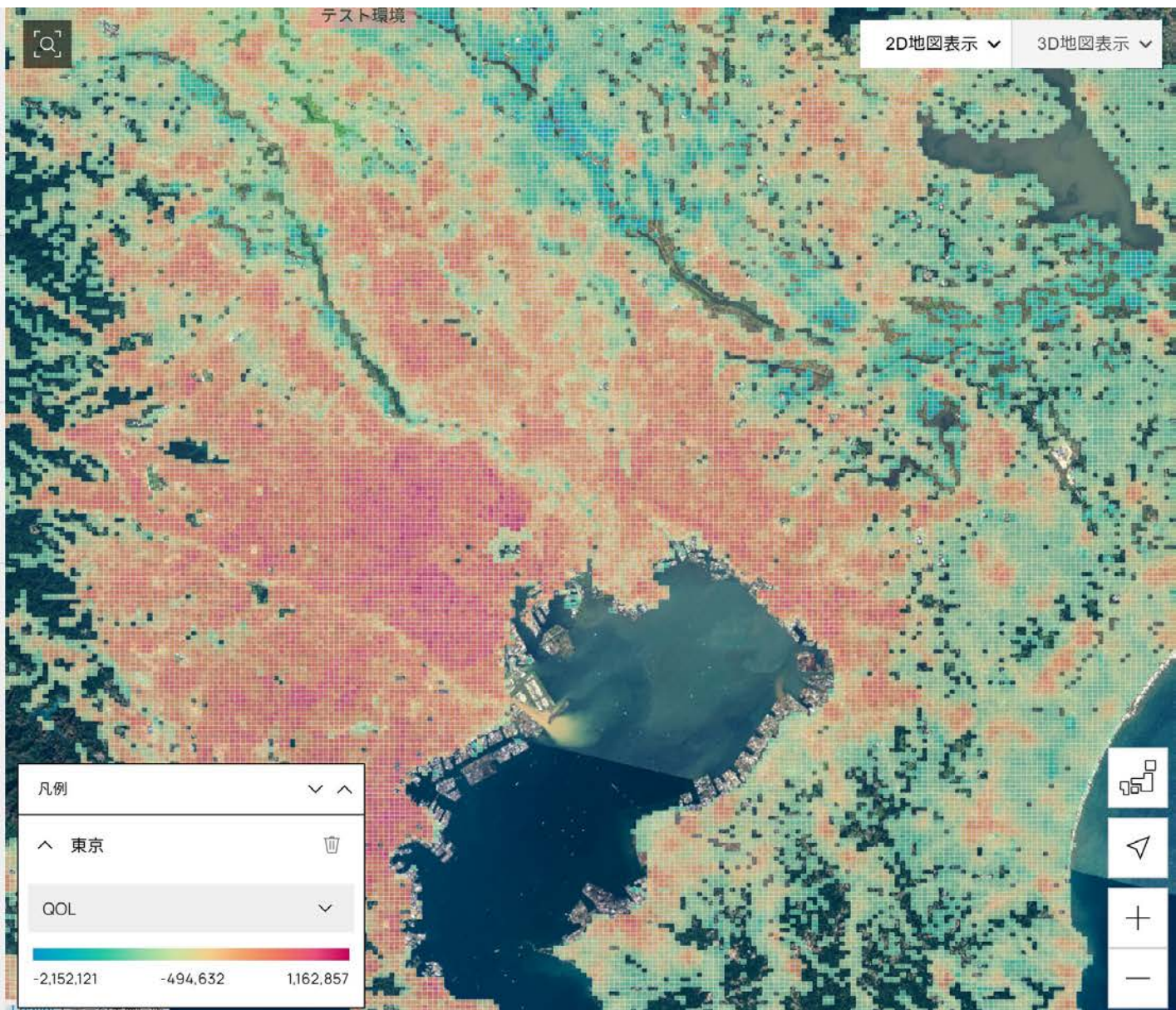
年度/年 : 2020
カタログ : 都市QOLデータ
データセット : 都市QOL都市圏

中京

年度/年 : 2020
カタログ : 都市QOLデータ
データセット : 都市QOL都市圏

#

#



検索結果一覧



検索条件

☐ 密集したポイントをまとめて表示

検索結果：2件 (2件 表示中) ↓

東京

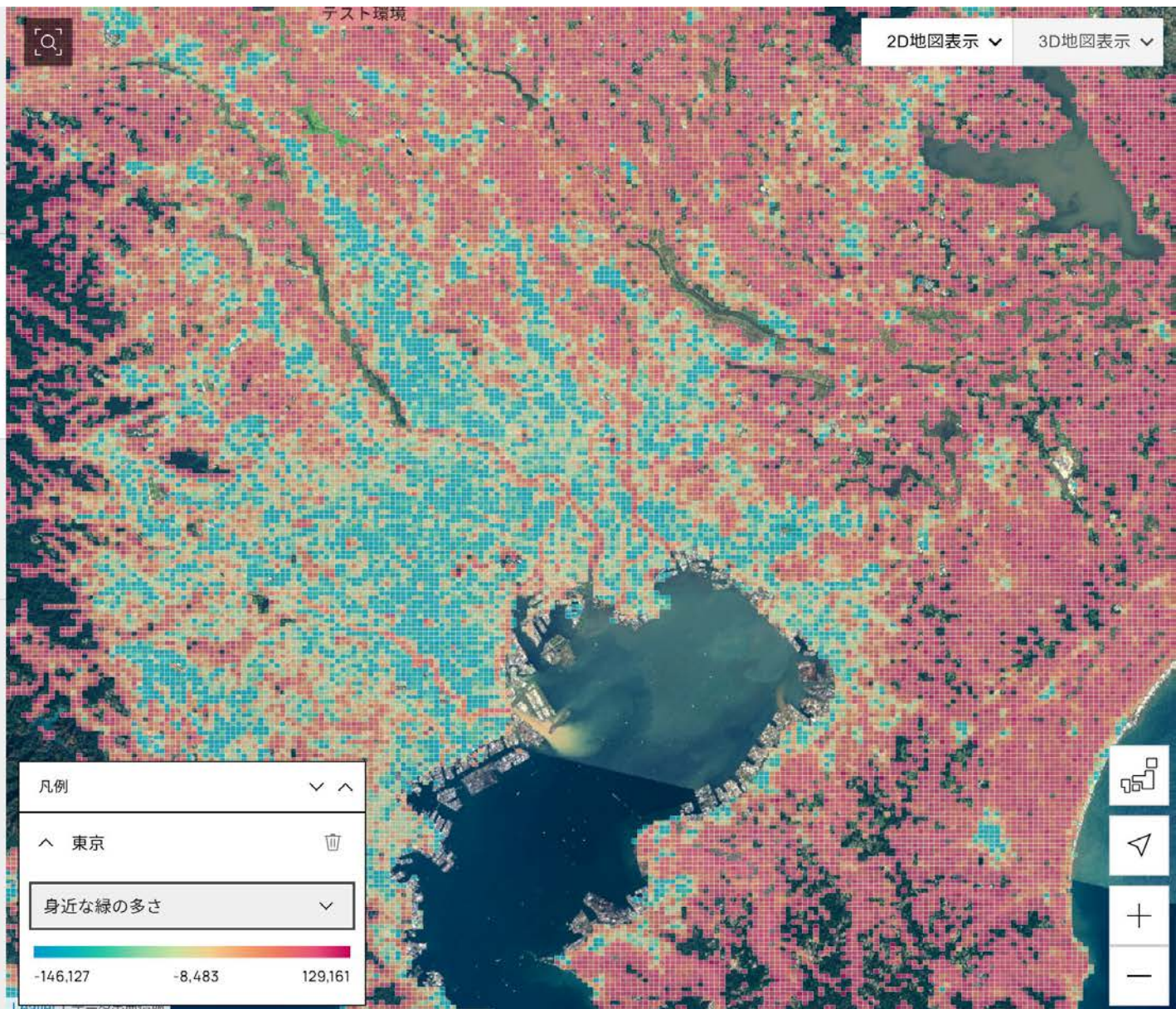


年度/年 : 2020
 カタログ : 都市QOLデータ
 データセット : 都市QOL都市圏
 付属ファイル : JSON CSV

中京



年度/年 : 2020
 カタログ : 都市QOLデータ
 データセット : 都市QOL都市圏



検索結果一覧



検索条件

☐ 密集したポイントをまとめて表示

検索結果：2件 (2件 表示中) ↓

東京

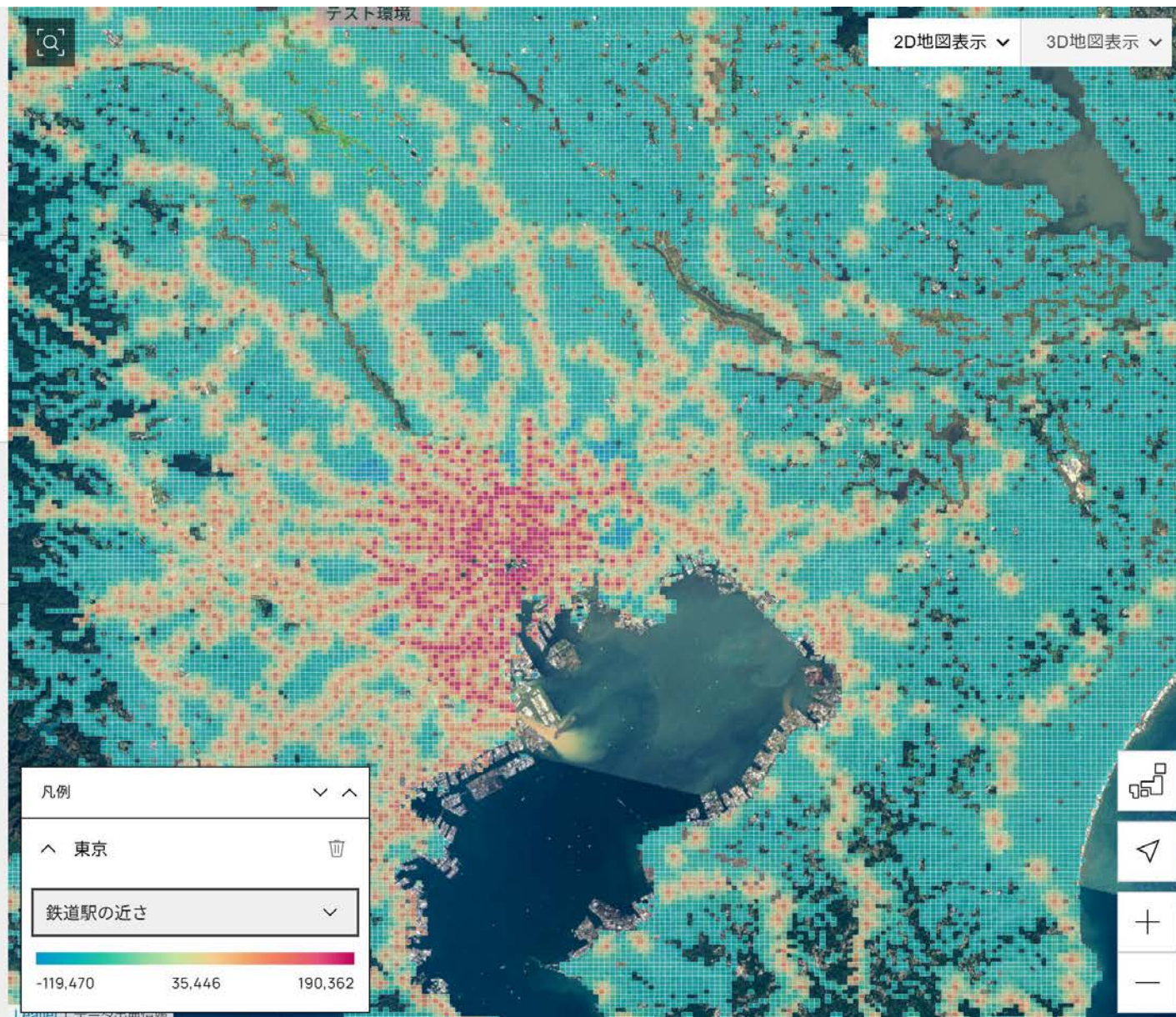


年度/年 : 2020
 カタログ : 都市QOLデータ
 データセット : 都市QOL都市圏
 付属ファイル : JSON CSV

中京



年度/年 : 2020
 カタログ : 都市QOLデータ
 データセット : 都市QOL都市圏



検索結果一覧



検索条件

☐ 密集したポイントをまとめて表示

検索結果：2件 (2件 表示中)

東京



年度/年 : 2020
カタログ : 都市QOLデータ
データセット : 都市QOL都市圏
付属ファイル : [JSON](#) [CSV](#)

中京



年度/年 : 2020
カタログ : 都市QOLデータ
データセット : 都市QOL都市圏

テスト環境

東京

KeyCode : 533946504
PrefectureCode : 13
CityCode : 13.105
Prefecture : 東京都
City : 文京区
QOL : 780,456.127
求人の多さ : 64,201.415
オフィス・学校の近さ : -83,982.037
住宅の広さ : -64,731.586
住宅の静けさ : 5,093.507
洪水リスク : 76,664.695
交通事故リスク : 3,844.325

閉じる

2D地図表示

3D地図表示

凡例

東京

QOL

-2,152,121 -494,632 1,162,857



MENU

カタログ一覧

地図から検索

条件から検索

お気に入り

ヘルプセンター

ユーザーメニュー

検索結果一覧

検索条件

☐ 密集したポイントをまとめて表示

検索結果：2件 (2件 表示中)

東京

年度/年

：2020

カタログ

：都市QOLデータ

データセット

：都市QOL都市圏

付属ファイル

：JSON .CSV

中京

年度/年

：2020

カタログ

：都市QOLデータ

データセット

：都市QOL都市圏

テスト環境

2D地図表示

3D地図表示

凡例

東京

QOL

-2,152,121

-494,632

1,162,857

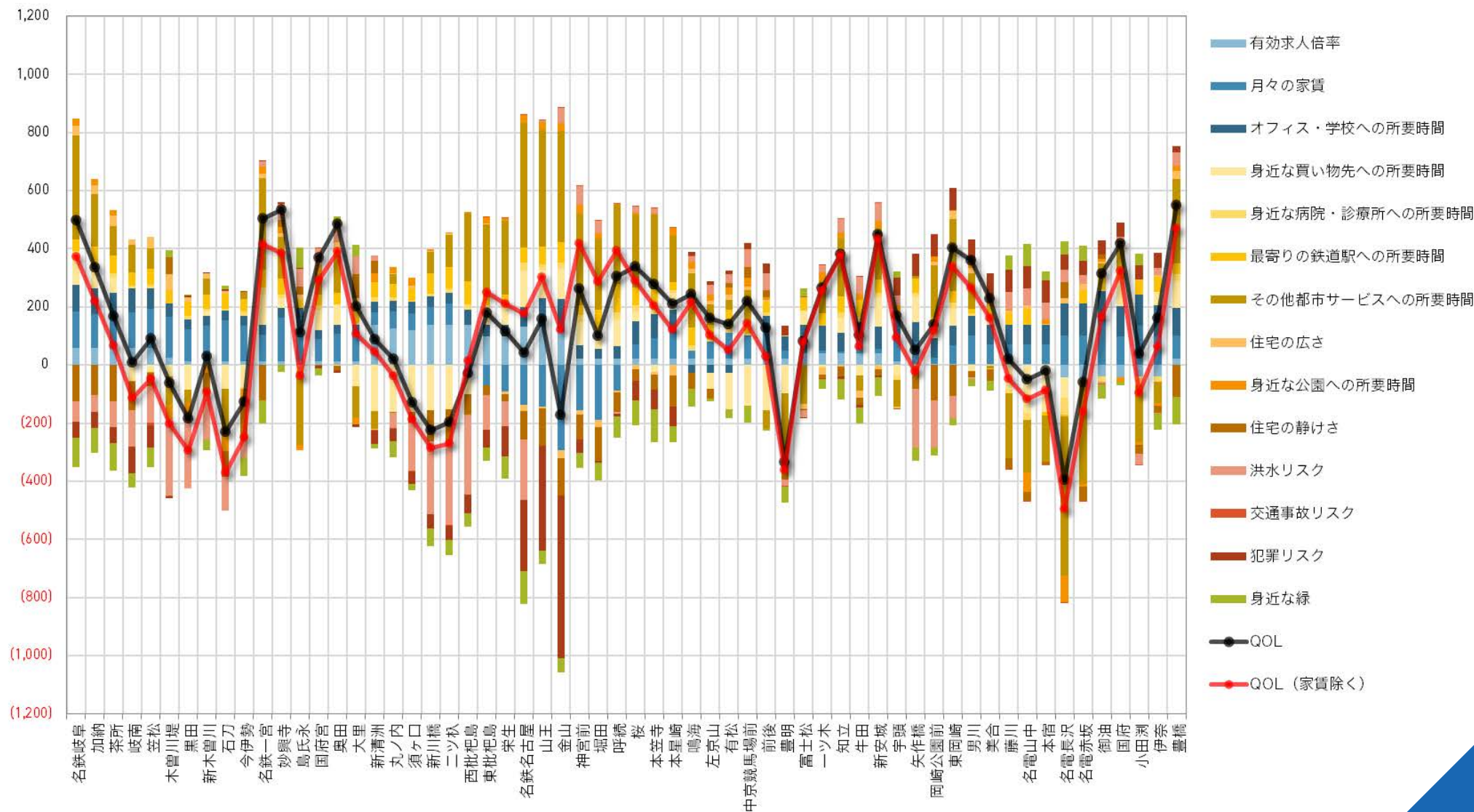
中京

CESIUM | データ出典情報

10

名鉄本線の鉄道駅間の周辺地区比較(1km圏)

(千円/年・人)



今後の活用に向けた展開

大日本ダイヤコンサルタント(株)
インフラ技術研究所 未来都市推進室
担当：森田 morita_hiroyoshi@dcne.co.jp

【想定している活用方法】

- ・ 地方自治体における都市計画検討における現状分析や課題分析
- ・ 都市再生・都市開発効果の分析（シミュレーション分析）
- ・ 都市開発事業者における開発適地や内容の検討
- ・ 一般市民における居住地選択の検討 など

【提供データの限界と今後の見通し】

- ・ 現在は2020年時点のデータ提供であり、現在2025年データ作成を検討中
- ・ 今回掲載データは平均的な評価であるが性・年代・所得ごとデータもある
- ・ どのような業界でどのような活用可能性があるかは当社も模索中

➡出来るだけ多くの方に触れていただき可能性を模索したい

➡データの活用、連携、協業等についてぜひフィードバックや連絡を